

新高1の落とし穴

2022.3.18(金)

高3の冬！ 国立大学へ進学できる人と私立大学にすら進学できない人に なぜ分かれるのか？

入学選抜を通して、高校入学時には、1つの高校には、ほぼ同じ学力の人だけが集まります。この人たちが高校3年末には、国立大学へ進学している人もいれば私立大学にすら進学できない人もいます。

高校入学時には、学力的には同じであったはずの人たちが、なぜこのように分かれるのでしょうか？

それは、中3から高1の春の過ごし方に原因があります。

志望高校に合格してよろこんで、合格した春に、勉強の手をぬき、遊んですごした人は、なんか授業がわからないが、そのうちにわかるようになるだろう、ということで、中間テストを受けます。その結果、中学のときにはとったことのない順位をとって、愕然とします。

ま、1学期は遊んだからしかたないな、学力はあるんだから、この次はがんばろう…ということで、授業に臨むが、ところどころにわからないところある。少し勉強すればこんなことは分かるはずだ、ということで期末テスト。

最後の方から数えた方がはやい順位の成績を取ってしまった。

ここで、この人の進路は決まったのです。

高校の数学の授業では、中学とちがって、前の授業内容の復習・確認などしません。新しい内容がどんどんでてきます。

周りの人たちも遊んでいるわけではなく、必死で勉強して、どんどん先へいきます。

だから、のんびりしていると、確実に置いていかれます。この3年間の積み重ねが国立大学へ進学できる人と私立大学にすら進学できない人の差となって現れるのです。

だから、中学の成功体験などすべて捨てることです。同じスタートラインからゴールをめがけて全員が一斉にかけだします。よそ見をしていたり、“うさぎ”のように“かめ”より自分の能力が上などと思っていると、確実に置いていかれます。

この分岐点が、中学3年から高校1年の春なのです。つまり、ダッシュに遅れると、追いつくのは不可能なのです。走っているときは、水泳のように周りがあまりよく見えないから気づかないだけなのです。

大学進学をねらっている人は、高校入試が終わったらすぐにダッシュしましょう。
50年間、高校生指導をしてきた数専ゼミの新高校生へのアドバイスです。

* 春期講習会の予定

前期 3月24日（木曜日）から3月29日（火曜日）

A組（4：30～6：00）、B組（6：00～7：30）、C組（7：30～9：00）

後期 3月31日（木曜日）から4月5日（火曜日）

D組（4：30～6：00）、E組（6：00～7：30）、F組（7：30～9：00）

■詳細は数専ゼミのトップページから「春期講習会」案内へアクセスしてご覧になれます。

新高1生のダッシュをアシストする数専ゼミの数学教室です。

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp

■新高1年生は、数学、英語、国語から選択受講できます。